



昭和53年度技術開発実況報告書

熊本 営林局 NO.8

様式4

課題	整理 別	整理 別	整理 別	整理 別	担当課	土木課 技術開発	開発箇所	中層地 帯	期 前	自52年度 至55年度	予算区分	技術開発	経費	品名	数量	単価	金額
													初件費	植生維持 カーゴ 肥料			
目的	崩壊発生防止のための林道計画法												従務費	-			
目的	崩壊発生を未然に防止する林道計画法と設計基準の開発を行う。												労賃	通時	7人		
													計				
全体計画		実況経過		当年度計画										実行結果		評価及び計画	
切取法面の崩壊を防止するに並べに現地に適合する構造物を求め、並列の路線選定方法と設計の基準を策定し、これにおける林道用林道用設備の減額を図り、合理的な林道設備投資を行うよう調査を行う。		1. 51年度中層地帯(1)林道の切取法林道) 古生層(東部層の大字林道)の土質環境委託調査を行う。		1. 中層地帯、古生層地帯における林道施工の51年度の各種実態調査に引き続き、更に状況調査を行う。										51年度の各種実態調査終了後に委託は認められず、		路線決定に及ぶまで、この調査内容に基づき計画を有するに依り、将来林道維持費の削減、林地保全に資するなどの大規模な調査、施工上の問題がある。	
		2. 52年度は中層地帯、古生層地帯の林道について		2. 構造物については、現地に適合する工法の開発を材める。										古生層地帯の林道において、法面緑化を次のとおり実施		更に、同地帯の構造物調査を詳細に行い、調査の之普及計画を明らかにす。	
		(1) 林道施工の実態		3. 法面緑化については各種工法を採用の調査を行う。										(イ) カーゴを使用し法面緑化			
		(2) 切土箇所、盛土箇所の実態												(ロ) 人工土壌種子吹付工法(現網ネット使用)			
		(3) 構造物施工の実態												この結果(イ)は切取の法面勾配が急であるので不安定である。			
		(4) 維持修繕の実態												(ロ)は、網が小さいと崩落を押し安定に緑化も良好である。			
		(5) 路線計画に及ぶまでの研究事項ならぬに崩壊防止工法の調査を実施した。															

課 題	継続 新規別	継続	経常 特別	経 常	担 当	土木課 技術開発室	開発 箇所	中生層地区 若生層地区	期 間	自52年度 至56年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額	
													物件費	役務費	人件費	計	千円	
6. 林道開設による法面崩壊防止法														土木構築費		人		
目的	法面崩壊防止法の設計基準の開発を行う。																	
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分														
				実 施 計 画				実 施 結 果				評 価 お よ び 普 及 計 画						
切取法面の崩壊を少なくすること。並に現地に適合する構造物を求め、開設費の低減を図り、合理的な林道建設費の投資を行うよう開発とすすめる。		51年度中生層地区(小森署の白髪岳林道)若生層(矢部署の大宮山林道)の土質環境委託調査を行った。 52.53年度は 1. 中生層、若生層地区に於ける林道施工の実態 2. 同上地区に於ける切上り溝及び盛土工の施工の実態 3. 同上地区に於ける構造物施工の実態 4. 維持修繕の実態 5. 路線計画にあたっての留意事項ならぬに崩壊防止工法等の調査を実施した。		1. 中生層、若生層地区に於ける林道施工の各種実態調査にもとづき更に状況調査を行う。 2. 構造物については現地に適合する工法の開発を進める。 3. 法面勾配を工夫し、又緑化工についても各種工法を採用し調査する。 4. 降雨時の路面排水を行い、盛土構造物への水の影響を抑制する。なお、排水施設について、各種類のものを経済的方面より開発する。				1. 52年度の各種実態調査結果(小森署の白髪岳林道、矢部署の大宮山林道)特に、変化は認められぬ。 2. 55年度継続工法の開発を進める。 3. 53年度大宮山林道で実施した法面緑化(オーカニックを使用)法面緑化(吹付工法)はその後も順調に緑化ははかられ法面が安定している。 4. 白髪岳林道において路面排水をはかるため、ガムを利用した止水横断溝を6ヶ所設置したため、今後の降雨時における排水機能を確認した。				今後この実態調査をすすめるに、現地に適合する工法を開発したい。 法面緑化についても土質、地形等を考慮して最も適合した工法を採用する。 又 路面排水施設も現地に適合した経済的かつ効果的な開発をすすめるべきである。						